



母の愛情

校長 北村 厚史

母は、昭和8年（1933）に五人兄弟の長女として生まれました。小学校5年生で父親を亡くし、中学校しか卒業できませんでした。その後、電電公社（現NTT）に入社し、父と知り合い結婚しました。

私が生まれたのは、昭和34年（1959）3月。祖父は鋳掛屋職人で、家は貧しく、両親共働きの家庭で育ちました。母の仕事は電話交換手。夜勤もあり、幼い頃は、ずいぶん寂しい思いをしたものです。3月生まれだったせいか、小学校3年生の頃まで何をやっても人より遅く、冬になると、いつも鼻をたれ、霜焼けに悩まされていました。学校から一方的に通知される家庭訪問や懇談の時間を、母の仕事の都合で変えてもらうように、担任の先生に頼むのが本当に嫌でした。修学旅行の日、母は夜勤明けで、お弁当は同級生の母親（近所のおばさん）に頼んでくれました。たくさんのおかずが入ったお弁当でしたが、「よっちゃん（友達の名前）と同じだ」と友達に言われそうで、手で隠して食べた記憶が残っています。

そんな経験から、子どもの心は繊細で、大人はその思いをくみ取ることや、その子なりのよさを認め励ましなが、自信をもたせることが大切さだと思っています。

小学校5年生の夏休みに中耳炎に罹り、治ったと思ったら、次はひどい耳下腺炎（おたふく風邪）を患いました。そのため、左耳が難聴になってしまいました。父は自転車に乗せて、5キロほどもある耳鼻科へ連れて行ってくれましたが、結局治ることはありませんでした。

昭和56年（1981）。大学4年生のちょうど今頃のことです。教員採用試験も何とか2次試験まで合格し、最後の健康診断で、医師に「左耳が難聴ですね。もしかしたら、不採用になるかもしれない。小学校は音楽の授業もあるからね。」と、言われました。家に帰って、そのことを母に伝えると、母は突然泣き出しました。「それで不合格になったら、あの時に、きちんとお医者さんに診せて治してやれなかった私が悪い……。」私は、その時、心の底から『教師になりたい』と思いました。それが、私の教師としての原点です。

母の祈りが通じたのか、幸いにも教員に採用されて38年間で過ぎました。教員人生の最後4年間を中川小学校で過ごさせていただき、本当に幸せでした。素晴らしい教育環境の中で、ひたむきに頑張る子ども達、指導力と人間性を兼ね備えた多くの先生方、学校を支え協力を惜しまない保護者や地域の皆様のおかげで、今の素晴らしい中川小学校があります。

多くの方々にお世話になり、本当にありがとうございました。きっと、母は「長い間、よく頑張ったね。」とほめてくれるような気がします。



<3月の予定>

- 1日(金) なかよし学級お別れ会・伝統を引き継ぐ会
- 2日(土) 土曜授業 町内なかよし会
- 4日(月) 読み聞かせ(中学年・はりんこ)
- 6日(水) クラブ(最終)
- 7日(木) ありがとうの会
- 8日(金) 油ぶき
- 20日(水) 卒業式総練習
- 21日(木) 春分の日
- 22日(金) 大掃除・卒業式準備
- 25日(月) 卒業式(4・5・6年)
- 26日(火) 修了式・離任式



4月の予定

- 4月5日(金) 入学式準備(午前中新6年生登校)
- 4月8日(月) 入学式・着任式・始業式…午後
- 4月19日(金) 授業参観・PTA総会
学年・学級懇談会
- 4月25日(木) 家庭訪問
- 5月8日(水)・5月9日(木)・5月10日(金) 家庭訪問

来年度に向けて改善していきます

2月21日学校評議員会兼学校関係者評価委員会を実施しました。学校評議員は、連合自治会長・社会福祉推進協議会長・青少年育成会長・民生委員や保護者代表の方など8名です。授業参観後、今年度の中川小学校の自己評価の結果や保護者アンケート等の結果の報告を行いました。この会でいただいたご意見を来年度に向けての改善に生かしていきます。

〈評議員様のお言葉より〉

- 特色ある教育（英語教育）に力を入れ、中学校とも連携して子どもたちに力をつけている。今後、国際化の中で、英語やコミュニケーション力が大切になってくるので、引き続き力を入れてほしい。
- どのクラスも集中して授業を頑張っている。
- 子どもたちが自分で目当てを決めて、それを意識して高めようとしているところがよい。
- 「学校へ行くことが楽しい」という自己評価が高い。お互いを認め合うことを大切にしている。自治会でも笑顔で暮らせる地域を目指しており、笑顔と感動を大切にしていってほしい。地域でも応援していきたい。
- 実物や大型モニターを使うなど効果的な指導をしている。今後、教材が電子化される中で、リアルとバーチャルを上手く使い分けてさらに魅力ある授業にしていってほしい。
- ▼体育や音楽など技能教科は繰り返し練習することが大切である。さらに活動量を増やすようにしていきたい。
- ▼上靴のかかとを踏んでいる子がいた。転倒につながるのできちんと履くことを指導するとともに、生活習慣は大切なので、家庭との連携を大切にしていってほしい。

| | 評 価 内 容 | H30 |
|----|--|-----|
| 1 | 学校は、教育方針や教育活動について、保護者にわかりやすく伝えている。 | 3.8 |
| 2 | 学校は、特色ある教育活動をよく行っている。（英語教育・国際理解教育） | 4.0 |
| 3 | 学校は、環境整備を行い、緊急時の対応等、安全な学校づくりに努めている。 | 3.6 |
| 4 | 学校は、教育効果の高い学校行事や体験活動を行い、教育効果をあげている。 | 4.0 |
| 5 | 学校は、「分かる・できる授業」を目指して工夫をし、学力保証の努力をしている。 | 3.8 |
| 6 | 学校は、特別支援教育について、支援体制を整え、成果をあげている。 | 3.5 |
| 7 | 学校は、地域に根ざし、地域に開かれた学校づくりに努力している。 | 4.0 |
| 8 | 児童は、学習に積極的に、ひたむきに取り組んでいる | 3.8 |
| 9 | 児童は、場に応じたあいさつができています。 | 3.8 |
| 10 | 児童は、規律と節度のある生活をしている。 | 3.6 |

青年友の会国際交流 2月16日

岐阜大学の留学生をお招きして外国の文化や言葉を教えていただきました。

5、6年生は英語で日本の紹介や自分の将来の夢を発表し、外国の方との交流を楽しみました。



地域講師のみなさま、ありがとうございます。

2月には、かがやきクラブ中川の皆様に昔あそびを教えていただいたり、国語の物語文「スーホの白い馬」に出てくる馬頭琴を聴く会、楽田太鼓の歴史を学ぶ授業、豆腐作り体験など、色々な講師の方にご指導いただきました。

クラブ講師の先生方ありがとうございました

3月6日で、今年度のクラブが終了します。共通の趣味や関心をもった4～6年生が、異学年の仲間とともに1年間、楽しく活動してきました。地域の講師の先生とのふれあいがたくさんありました。

みなさま、ありがとうございました。

| | | | |
|-----|---------|------|---------|
| 生け花 | 北村えみ子先生 | スポレク | 林 嗣朗 先生 |
| 着物 | 長谷川裕子先生 | 茶道 | 大澤智恵子先生 |
| 和太鼓 | 加納 崇先生 | 手品 | 近藤速成 先生 |
| 手話 | 細道みつる先生 | 民謡 | 久野あや子先生 |
| | 石原美子 先生 | | |



学校支援ボランティアのみなさま、1年間ありがとうございました。

校庭の清掃や机の高さの調整、クラブの道具の搬入のお手伝いなど、子ども達のために色々とお世話になりました。

入学式・新任式・始業式の日課について 4月8日(月)

午後からの登校になります。家で早めに昼食をすませ、次のように登校してください。

| | |
|-------|-------------------------|
| 12:20 | 6年生登校 |
| 13:30 | 2～5年生登校 (各班で集合時刻を確認) |
| 15:50 | 学年下校 |

| | |
|------|-------------|
| 着任式 | 14:00～14:15 |
| 始業式 | 14:15～14:40 |
| 学級活動 | 14:50～15:35 |

